



ほっこりワクワクはなのこ広場

日	月	火	水	木	金	土
		1★予約 受付日	2★お抹茶の会	3	4	5
6	7	8★赤ちゃんデー	9	10	11	12 お休み
13	14	15	16★お話し会	17★講習会	18	19
20	21	22	23	24 誕生日会	25	26 お休み
27	28	29★製作 お月様の ペーパー	30 エリア支援	31		

- ★1日（火）13時半～16時半まで受け付け開始。その後常時受け付け。
- ★2日（水）お抹茶の会 お菓子代 300円徴収します
- ★8日（火）赤ちゃんデー野菜スープや、離乳食の試食をします。
- ★16日（水）お話し会
- ★17日（木）講習会「子どもの事故予防と応急処置について」
- ★24日（木）10月生まれのお友達の誕生日会（誕生日じゃないお友達は予約はいりません。遊びに来てね）
- ★29日（火）製作「お月様のペーパーアートづくり」
- 30日（水）エリア支援（予約不要）内山保育園の職員の方が来て、いろいろな相談に乗ってくれます。

〈はなのこ広場へのアクセス〉 Tel 052-753-6780

【地下鉄・JR】「鶴舞」 【市バス】名古屋・栄系統「千早」下車

\*車で来られる方は近隣の駐車場をご利用下さい。

住所：名古屋市千種区吹上 1-2-15 サンライズ吹上 1階

緑の丘福祉会 HP <http://www.midorinooka.or.jp/>



【はなのこ広場の利用について】

◇開所時間について

- ・月～金曜は午前の部が10:00～12:30まで。午後の部が13:15～15:45です。
- ・土曜日は第1・第3の10:00～13:00です。
- ・11:15～12:15の時間はランチタイムです。お食事希望の方はお弁当をお持ち下さい

◇利用予約について

ご利用の際の予約は必要ありません。ただし講習会やイベントの日は予約制とさせていただきます。\*予約日の午後は通常通りです。

◇利用するにあたってのお願い

- ・おむつ替えをするシートをご持参ください。
- ・施設を利用する際は、親子ともに自宅で検温をしてから来所して下さい。
- ・お子さんが37.5℃を超えた発熱、かつ、元気がなく、機嫌が悪い、食欲がないなど全身状態が不良な場合は、利用を控えていただくようお願い致します。
- ・マスクの着用は個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることが基本となります。ただし、感染症が流行している時などの場合は、スタッフから着用をお願いする場合があります。
- ・水分補給用の水か、お茶を持参してください。

## 【9月の取り組み一部紹介】

### ① ♪お月様のペープサートできたよ♪

9月はお月様のペープサートを作ったよ。10月も作ります。予約してね。



### ② 赤ちゃんデー

今月は6組のお母さんたちが集まって、今、子育てで困っていることについて交流をしました。「夜一時間ごとに起きてきちゃって…」「離乳食、嘔まずに飲み込んでいる気がする」「お風呂ってどうやって入れていますか?」「ベビーカーっていつごろから使うといい?」「ママの寝かしつけじゃないと寝ない」などなど。身近な子育ての中での悩み事がいっぱい出てきました。でもね、さすがたくましいお母さんたちは、自分が少し前に経験したことを、実体験を踏まえてアドバイスしてくれます。「みんな悩みは一緒だなー」「早速それおうちでもやってみよう」といううれしい声が聴かれ、和気あいあいとした中で交流することができました。

### 【10月の講習会のお知らせ】

17日(木)10:30~

「子どもの事故予防と応急処置について」  
千種保健センターの保健師さんがお話してくれます。お早めに予約してください。(7組まで)



### ③ 防災講習会

今年も防災ボラネット昭和の小塚さんにお話をいただきました。お正月に能登半島地震があり、ますます関心が高まるばかりです。小さいお子さんを守るにはまずはお母さんがパニックにならないこと。その時に頭にパッと常備してあるものがどこにあるかなど、思い浮かべられたらその後も冷静に行動できるとおっしゃっていました。災害時に一番困ることは、排せつ物の処理です。復旧には時間がかかるし、すぐに収集車も来ません。個人で始末できるように凝固剤などで固めて、ごみ袋などで縛って保管しておくことが求められます。非常食についてもよくいわれていますが、乳児さんは非常食はあまり食べないので、普段食べているものをローリングストックしておくこと。避難バッグなどは持ちだしやすいところに置く。非常用持ち出しバッグと後で取りに行ける備蓄品など2種類用意しておくといいようです。車の中に置いておくのもいいですね。普段から同じ学区や地域の方とのあいさつや声掛けも大事にして、相互支援しやすい関係を作っておくことの大切さも学べ、防災に関する意識を改めて高めることのできる講習会となりました。

